

手作り算数教具①

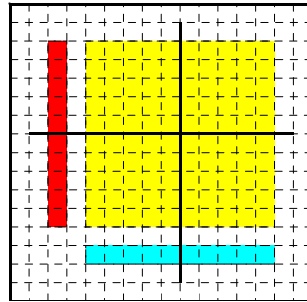
かけ算計算器

材 料：方眼工作用紙(16cm×16cm／1cm方眼、5mmリーダー無し) 4枚、
白ボール紙(16cm×16cm) 1枚、白ボール紙(15cm×13cm) 2枚

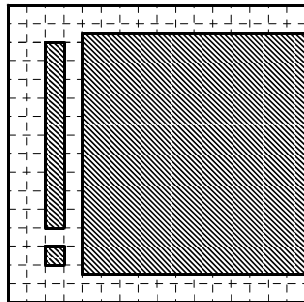
道 具：カッターナイフ、カッターマット、蛍光ペン(赤、青、黄)、
ボールペン、ボンド、20cm以上の定規

作り方：

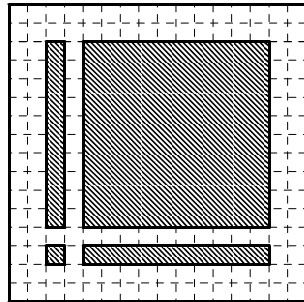
- ① 方眼工作用紙1枚に右のように色を塗り、黄色の部分を4等分するよう十字に線を引きます。
- ② 残り3枚の方眼工作用紙を、それぞれ下のよう
に切ります(斜線部を切り取る)。



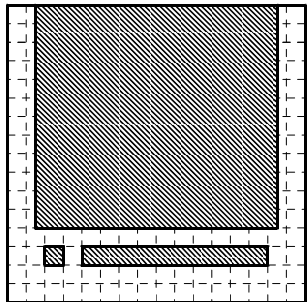
【パーツ1】



【パーツ2】

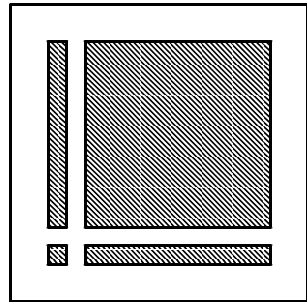


【パーツ3】



【パーツ4】

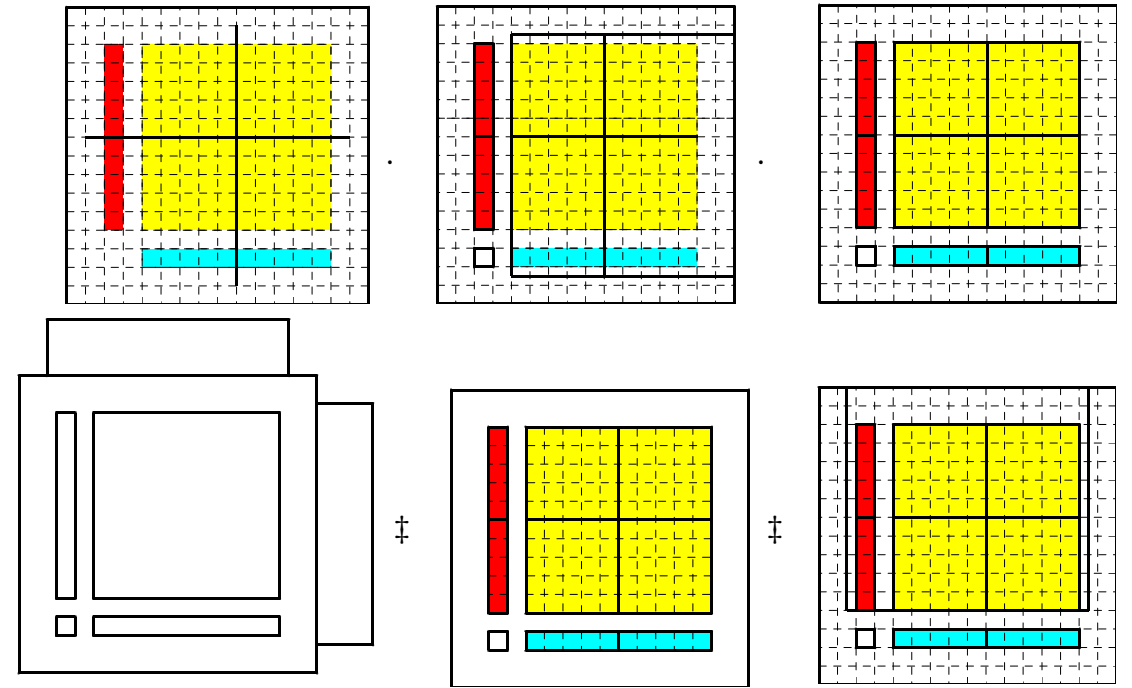
※【パーツ2】【パーツ4】の棒状の部分は1.5cm巾。



【パーツ5】

- ③ 白ボール紙(16cm×16cm)を、右のように切ります。寸法は【パーツ3】と同じなので、裏が方眼のボール紙を使うと作業が楽です。

- ④ 【パーツ1】から【パーツ5】までを、【パーツ1】が一番下になるようにして順番に重ねて張り合わせ、白ボール紙(15cm×13cm)を上と右から差し入れると完成です。



注意点：

- ①材料・道具は次のようなものを使っています。
方眼工作用紙…5cmごとに太線の入っているものが多いのですが、1cm方眼で太い線の入っていない物を取り寄せています。
白ボール紙(16cm×16cm)…クラフテリオから出ている、裏側に方眼が書かれたものを使っています。
白ボール紙(15cm×13cm)…ホームセンターなどで売っているボール紙を裁断機で切っています。13cmの方は12.8cmの方がスライドさせやすいと思います。すべりが悪いときはロウを塗っています。
蛍光ペン…100円ショップで太めのものを買っています。
ボンド…100円ショップで幅広くぬれるものを買っています。
- ②ここで示したパーツの切り方は一例です。もっと無駄のない切り方もありますが、説明が難しいので今回は紹介しません。